

海部地方防災リーダー養成講座

平成23年東日本大震災、平成28年熊本地震を始めとして、近年大規模な自然災害が多発しており、今まで以上に地域防災力の重要性が高まっています。そこで、地域防災の中心的な役割を担う「防災リーダー」の養成講座を開催します。



- とき** 11月26日(土)・12月3日(土) (全2日間)
- ところ** 愛西市役所 南館1階会議室(愛西市稲葉町米野308) ☎26-8111
- 受講対象者** (1) 満18歳以上の方
(2) 津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村のいずれかの市町村に在住・在勤・在学の方
(3) 養成講座受講後も防災活動に意欲的に取り組んでいただける方
- 定員** 40名程度(応募者多数の場合は抽選) **受講料** 無料
- 内容** **講演** 防災お役立ちガイド(自主防災リーダーとは)
講義 災害が起こったときに～あなたが支援できること～
実技 災害図上訓練(DIG)
自主防災組織活性化演習など
- 申し込み期限** 10月28日(金) **申込方法** 申し込み用紙にご記入の上、市役所危機管理課までFAXまたは持参してください。なお、申込用紙は市ホームページからダウンロードできます。
- 問い合わせ先** 市役所危機管理課(内線365) FAX 52-3276



弥富市社会福祉協議会
矢野 恭平さん

熊本への被災地支援を通じて **パート2**

支援期間 6月29日～7月5日
活動場所 熊本県熊本市中央区花畑広場および東区動植物園

熊本地震における災害ボランティアセンター運営支援に、東海ブロック内社会福祉協議会職員(以下、社協職員)の一員として1週間派遣されました。

災害ボランティアセンターに寄せられる依頼は、震災ゴミの撤去・室内の片づけや応急仮設住宅への引越などがありました。中には、ボランティアだけでは対応できない内容の依頼もあり、消防士や生活協同組合といった専門職の力を借りながら、被災者自身では、どうしようもない状況へ親身になって対応されていました。地元熊本の社協職員はじめ、支える側の人も被災している状況で、地元住民や長期支援ボランティア・応援社協の力を活用しながら、被災者に寄り添った、非常に丁寧な聴き取り、コーディネート支援を展開していました。

一方で、大雨警報などにより、ボランティアによる支援を延期せざるを得ない状況が続いた時期には、支援を必要とする住民も理解を示してください、つらい状況でも、多くの方が復興に向かって力を合わせ前進している印象を受けました。ボランティアの支援を受けた被災者のお礼の手紙や電話越しの笑顔の声はとても印象に残っていると、熊本の方の強さを感じました。

今回、私たちが支援に入った期間は、震災から約2カ月半が過ぎ、ニーズ内容の変化やボランティアセンターの規模縮小・閉鎖へ向かう動きが出始めたところで、震災当初にあったサテライトボランティアセンターは閉鎖され、本部のあった市中心街から本部の移設など、市内3カ所あったボランティアセンターを閉鎖し、新たに一極集中させたセンターを開設した時でした。それまで3カ所あったセンターはそれぞれ、機能・手法が少しずつ異なり、統一したシステムづくりが急務でした。私を含めた愛知県内社協職員3名は、継続的で円滑な支援と地元社協職員の負担軽減を目指し、現場で行われていることのシステム化および視覚化することを提案してきました。私たちは後方支援・センター運営支援であったため、直接被災者の方と接する機会は少なかったのですが、センターを運営している地元社協職員も被災者であり、休みなく被災者のために尽力されていました。被災者でありながら支援している彼らのサポートだけでも何とかしたいと支援に取り組みました。

愛知にいる私たちにできる事には限りがあります。しかし、それぞれの立場でできる復興支援が必ずあるはず。震災から5カ月。熊本は復興途上です。復興には、まだまだ皆さんの継続的な支援が必要です。



災害ボランティアセンター

平成28年度愛知県・弥富市

津波・地震防災訓練を行います

訓練テーマ：「地域で協力して命を守ろう」

11月6日(日)午前9時 (雨天決行)

訓練タイムスケジュール

- 8:45 開会式
- 9:00 ○緊急地震速報・地震発生
(同報無線・メールで情報伝達)
※この機会に、住民の方各人が身を守る行動(シェイクアウト=姿勢を低く、頭を守り、じっとする)として練習しましょう。
- 津波警報発令の放送
- 9:02 避難誘導訓練開始
- 9:30 各種訓練開始
- 11:20 閉会式

訓練の想定

午前9時、渥美半島沖の南海トラフを震源としたマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、弥富市でも震度7の非常に強い揺れが2分続いた。これにより市内全域に家屋の倒壊、液状化による浸水、火災が多数発生。また、3mを超える大津波が沿岸部に押し寄せる可能性があるため、市対策本部は9時5分市内全域に避難指示を発令した。市内全域で被害が甚大であるため、警察・消防・自衛隊などへの救援要請を行った。



訓練メイン会場 **木曾川グランド**

訓練サブ会場 **南部防災センター
海南病院
港湾エリア**

メイン会場では午前9時30分から訓練エリアで、被害情報収集訓練、救護部隊の家屋からの救出、ヘリおよび救護用ボートによる救出訓練を行います。

また、自主防災組織などによる初期消火訓練、中学生、高校生などを含めて災害ボランティアセンター開設運営訓練などを行います。

展示エリア、体験エリアでは、防災の各種啓発を行っておりますので、見学・体験を行ってください。

この防災訓練でいろいろなことを学びましょう

この防災訓練の機会に、命を守るために、家具の固定のチェック、避難経路のチェックをしましょう。また、非常持ち出し品の確認もしましょう。

問い合わせ先 市役所危機管理課(内線362・365)

訓練では、**エリアメール**と**弥富市安全・防災メール**の配信サービスおよび同報無線を使って「**訓練開始**」および「**訓練緊急地震速報**」を伝達いたします。

今回の訓練では、災害用キットのエリアメールと、市が災害や防犯情報を提供している弥富市安全・防災メール配信サービスの両方と同報無線を活用した訓練の開始など、「訓練緊急地震速報」「警報発令」を市内全域に伝達いたします。

今回は、実際に災害が発生した場合に、情報が受信できる状態かを確認できる訓練になります。

○弥富市安全・防災メール配信サービスは、事前の登録が必要です。下記のアドレスから事前に登録をお願いします。
<http://t-yatomi@sg-m.jp>



訓練に参加して「見て」「体験して」防災の意識を高めましょう。